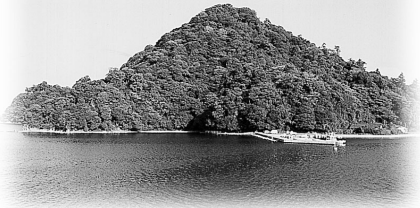


十神山



会報 安来節

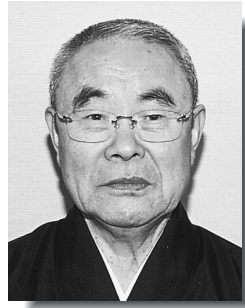
YASU GI BUSHI

発行所 安来節保存会

〒692-0064
島根県安来市古川町 534
TEL 0854-28-9988
FAX 0854-28-9393
http://www.y-hozon.com/
E-mail:admin@y-hozon.com

新名人に聞く

名人位を受けて



名人 原文男
(松江支部)

私、この度名人位を推挙いただきました。これは一重に皆様方の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

私のこれまでの安来節人

生を山登りに例えれば近くに名峰大山がございますが、私はそれ以上の美しい高い山の頂に立ち、皆様から拍手の祝福を受けた気持ちでございませぬ。山登りの始まりは終戦の翌年、昭和二十一年父や兄に勧められ、村の秋祭りの舞台上で安来節を唄い、皆さんに喜んでもらったのをきっかけに当時あった大塚支部に入会致し、その年に支部の講習会があり、講師の先生がなんと唄・初代安代出雲愛之助、絃・初代安達順吉、鼓・高山雅市このお三方の先生でした。私は唄を見てもらいましたが、一節が外れて何回唄っても直らず泣き出した事を忘れ

して転ばぬように一歩一歩踏みしめながら進んで参りたいと思っております。

これからも「明るく楽しく」をモットーに先輩から学んだ事、私なりに経験してきた事を皆さんにお伝えし、この素晴らしい安来節の発展の為に尽力してまいり所存でございます。どうぞ皆様変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール

◆生年月日 昭和十年十月七日

◆保存会役職 資格審査員

◆入会年月日 昭和二十一年大塚支部へ

昭和二十三年に休会、昭和四十三年松江支部へ再入会

◆活動記録

・平成五年

東京浅草公演に出演

・平成十三年

福岡「博多座」公演に出演

・現在

毎月三回位、老人ホームへ慰問

◆優勝大会での入賞歴

個人の部

師範・鼓の部

優勝三回、準優勝二回

師範・唄の部

三位二回

師範・絃の部

準優勝二回、三位一回

師範・踊の部

優勝二回、準優勝三回、三位一回

団体の部

準優勝一回

召しあがれ！安来のどじょう

安来節演芸館を訪ねて

並河健蔵

立春が過ぎたとはいえ、山陰地方にも強い寒気が入りこんで、平野部でも冷たい風と共に雪が降る日であった。周辺の田や山々も水墨画のように静かな景観の中で、多くの職がはためているのは安来節演芸館である。その隣のお食事処じょう亭に、濃い藍染の暖簾を押して入る。かねてこの泥鰌料理を味わいた

かけた創作メニューが、まるごと安来井である。上半身をゆらしながら熱っぽく語る内容は次の通りである。①酒に酔わせた泥鰌の水気をとり、塩と胡椒を加えて片栗粉をつけて唐揚げする②地元の島田筍を伯太番茶で煮る③短冊切りにした椎茸・人参・きくらげを湯がく④鰹だし汁・味噌・濃口醤油などで垂れを作り、この中に湯がいた野菜や筍を入れて火にかけ、温もったところに水溶き片栗粉でとろみをつけ、最後に笹打ちした葱を入れる⑤井の底に泥鰌を敷いて、棚田で育てたコシヒカリのつやつやしたご飯を盛り、

というの今から四十数年前、東京オリンピックが開催された年であった。初夏のある日、友人と浅草の「駒形どぜう」で食べた柳川鍋の味が忘れられなくて、という次第である。早速、料理長の内田氏の熱のこもった話を聞きながら賞味することになった。

ささらに唐揚げした串刺しの泥鰌を添えて……出来上りだ。ゆつたりとしていただと快い満腹感が味わえるし体も暖まってくる。また揚げたての泥鰌の唐揚げやかき揚げの味は、いずれもカラッと生きている、たとえようもない。喉ごしのよいビールの肴にもってこいだ。あとはもう言うまい。ここへ来て皆さんでたっぷりと召し上げ。

まずは本命の泥鰌から。泥鰌は死ぬと臭みがあるので、生きたものが絶対条件。そのため身を開いて料理をするのが一般的だが、ここでは丸ごと使う。幼魚の長さ五〜六センチの小さいものがよく、暫く酒に酔わせて骨を軟らかくするというのがいい。そう、酒にね。

これは浅草の「駒形どぜう」、西は安来節演芸館の「どじょう亭」といきたい。泥鰌をはじめ地元産の美味な食材を、内田氏の創意と熱意によって調理されたメニューには、暖かい心根のある安来の風土性が盛りこまれている。

最初に甘露煮が食卓に出される。酒・濃口醤油・味噌・砂糖に山椒の実を加えて味つけする。さて骨をいかに柔らかくするかがポイントだが、そこは内田氏の独創的な「秘伝」らしい。黙ったまま「味わってみて下さい」と目が笑っている。さすがに小さいながら泥鰌の姿が崩れず皿に盛っている。骨がよく溶けこんで

かいた創作メニューが、まるごと安来井である。上半身をゆらしながら熱っぽく語る内容は次の通りである。①酒に酔わせた泥鰌の水気をとり、塩と胡椒を加えて片栗粉をつけて唐揚げする②地元の島田筍を伯太番茶で煮る③短冊切りにした椎茸・人参・きくらげを湯がく④鰹だし汁・味噌・濃口醤油などで垂れを作り、この中に湯がいた野菜や筍を入れて火にかけ、温もったところに水溶き片栗粉でとろみをつけ、最後に笹打ちした葱を入れる⑤井の底に泥鰌を敷いて、棚田で育てたコシヒカリのつやつやしたご飯を盛り、



新メニュー「まるごと安来井(上)」と「まるごと柳川鍋(じょう亭風味)」

ひびけ歌声世界の空へ

支部情報

踊り覚え書 その4 映画「火垂るの墓」と 安来節男踊り



東京支部長
棚橋 保

作家野坂昭如氏原作「火垂るの墓」の映画を作る事になったのでご協力願いたいとの連絡を助監督の濱田康宏氏からいただいた。現地撮影に入る一ヶ月前であった。それは主人公清太（十四歳）役の吉武伶朗君に踊りが覚えられないようにしてほしいとの事であった。場面その一、母親役の松田聖子さんの前で踊る場面。これは私が使っている上代安夫、二代目渡部音吉両名人の伴奏によるもの。

場面その二、口三味線で踊りのリズムを唱えて歩き、ザルを使う時はアカペラで唄を歌いながらザルを使う。この二つの場面を一ヶ月で、しかも日程の都合上六回で出来るようにという注文であった。とにかく場面その二は至難である。なにしろ安来節など聞いた事も見た事もない少年にどう教えるか、しばし思い巡らした。まず四分の二拍子を口・手・足で覚える。表間の「イ」「二」と裏間の「チ」「イ」を口でしっかりと唱え、それに合わせて手を上下にして叩き、それに合わせて歩く。段々速くしてその速調子の拍子リズムに乗る。これに徹して稽古をした。六回目の稽古は日向寺監督の前で踊り、一回でオーケーが出てほっとした。

絃 准名人を祝う



松山支部長
三本善正

昭和五十七年に発足した松山支部も昨年二十五周年を迎え、記念行事として出雲正之助先生をお迎えして銭太鼓の講習会を行いました。来る三十周年は節目として盛大に祝おうと計画中です。

一月二十日に山陽、四国地区初の絃准名人石岡邦宏先生の昇格祝賀会を開催致しました。来賓の二代目安達順吉、原文男先生の祝辞に続き、出雲正之助先生の乾杯の音頭で祝宴と成りました。伊予道後支部からも白石和徳支部長はじめ多数の会員さんの出席を戴



安来節絃准名人 岡邦宏 昇格祝賀

きました。石岡先生の謝辞では初代支部長であった渡部紫先生との出会い、交通の便の悪い中、安来へ通った想い出話しや、ここま



祝 安来節絃准名人 石岡邦宏 昇格祝賀会

津、松山検査の芸奴さんによる伊予節等で花を添えて戴き盛大に盛り上がりました。楽しい一時もあつというまに終宴となりました。今後は石岡先生には身体に気を付けて戴き、後輩の指導に力を注いで戴きたいと願っております。

支部情報



尾高副支部長
矢倉 義法

支部設立は昭和元年（安来節のしおり引用）、本部道場に続き、二番目に設立されて八十三年の歴史を感じます。諸先生方によって築かれて育てられた支部を大切に引き継いで行く事が私達の責務だと思っております。一時は支部会員が九十人を超す数でしたが、会員も高齢化し、段々と会員数が減り、現在四十名弱となり会員募集に力を注いでおります。毎年四月の第二日曜日は故 中井良夫名人が創立された互楽会（法勝寺・東伯・

尾高支部を中心として他支部の有志会員）で優勝大会を行い日頃の練習の成果を競っております。各階級の優勝者には優勝旗が渡される様は保存会の全国優勝大会並みの華やかさが伺われます。また支部の事業で唯一親睦と技術向上の場として一泊で行う研修旅行です。平成五年から毎年バスをチャーターし、北は新潟・佐渡島から南は九州・九重夢大吊橋まで足を延ばしております。観光はもちろんですが、まずは往路のバスの中から練習が始まり宿での宴会は当然安来節の競演で一人残らず披露します。時には別の宿泊客に見てもらい楽しんで頂く事が多々ありました。宴会が済めば一室に集まり夜が明けると練習三昧、この練習の成果で全国優勝大会で優勝、入賞する会員も出る程です。参加型のお祭りには積極的に参加し、その土



地の方々と交流を行うよう努めております。輪を大切に会員一人一人が協力して支部を盛り上げるそんな尾高支部が大好きです。これからも親睦を深め、安来節の普及・新会員獲得に支部会員一同頑張っ

安来節全国優勝大会

記録ビデオのご注文は!!

1991年～2005年の毎年3日間の競演

高品質な映像観
迫力の音質



各¥5,500 (送料込み)
踊り編・銭太鼓編・各級ごとにご注文下さい。

- あの興奮をもう一度…! 毎年8月に行なわれる安来節全国優勝大会の記録ビデオです。あなたの晴れ舞台、映ってます。
- 唄や踊りの手本に最適です。
- 銭太鼓デモンストレーションバージョンもあります。

ご注文お問い合わせ

中四国映像製作社連盟加盟

ヴィエルシー株式会社



〒690-0012松江市古志原2-9-60
TEL (0852) 27-7700
FAX (0852) 26-8132
E-mail vlcn@viola.ocn.ne.jp

大小鼓製造卸販売



杉本 鼓 店

住 所：島根県松江市馬潟町360-13
電話・FAX：0852-37-2033
E-mail：ks36013@web-sanin.co.jp

※通信販売も致しますので、お気軽にお電話ください。
修理、下取りもご相談ください。

新支部紹介と ご挨拶



大利根支部長
玉川 隆 正

この度、安来節保存会の支部として、昨年の平成十九年十一月に新しく発足致しました大利根支部でございます。私どもの支部は、関東一円を拠点としておりまして、会員も首都圏の一都五県にまたがっております。また、やや離れた東北の仙台にも十五名程の会員が活動する仙台部会があることも申し添えておきます。

支部名の由来はと申しますと、私どもの住む関東平野を流れ、広い流域を持つ、日本を代表する川であります「利根川」に因んで名付けさせて頂きました。

現在の支部の規模としましては、会員数も発足時は九十七名（内師範十四名）でしたが、お陰様で順調に増加致しまして、現在は一〇八名になりました。設立に当たりましては、色々な課題がございましたが、それを乗り越えて新支部の設立が出来ましたのは、関係各位の並々ならぬお力添えのあった賜であり、ここに改めて深くお礼申し上げます。なんと申しましても、まだ発足したばかりの未熟な支部でございますので、皆様の力強いご支援とご指導を私ども大利根支部に頂けまう宜しくお願い致します。

これからは、在京の近隣支部様とも協力致しまして、「安来節」諸芸をこの広い関東の地に広め、安来節保存会の発展に少しでも寄与出来ればと思っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

会員の声コーナー

私と安来節



山口支部
斉藤 弘子

友達の紹介で、安来節保存会に入会することになりました。私が子供の頃に父が踊ったどじょうすくい、母が見せてくれた銭太鼓、おぼろげに聞いた懐かしい安来節の唄、今では私が取組む事になり、なかなか思うよう出来ず、悪戦苦闘を繰り返しております。保存会に入会して約一年間稽古をして、初めて受けた唄の審査会でいきなり二級に昇格出来た事が、すごく嬉しくて今でも忘れる事が出来ません。それからは先輩の唄や先生の唄い方などをじっくり聞いて勉強を重ねました。その当時は会員が多く、同年代の人には密かに闘争心を燃やし、夢中で稽古に稽古を重ね続けました。

平成五年、思いがけず教室を担当す

る事になりました。それまでは自分が生徒でのんびりと習って来ましたが、一転立場が変わり、教える事の難しさ、教室運営の苦労、人間関係の厳しさ等々と未知の世界をのぞき、お陰様で自分が一段と大きく成長したように思います。それから幾年月、生徒もめざましく成長し、師範資格者も何名か出来まして、教室の行事も慰問演芸会、農業祭、公民館祭と舞台出演の要請も次第に多くなって来ました。そして何よりも嬉しい事に主人が生徒として入会してくれる事になりました。今一番の幸せは夫婦で一つの目標を持って、いつも一緒に行動出来る事です。私は自分の主要種目である唄にもっともつきをかける事、そして主人は相性が良いのか鼓に取組んで生き生きとして稽古しております。

山口支部は恒例として二月に審査会を開催します。私の元で育ってくれた生徒ももちろん参加をしました。生徒を育てる楽しさと怖さがこの審査会に凝縮しております。これからも大好きな安来節を心の支えとして楽しく唄い続けて参ります。

支部長五年目にあたって



米子支部長
三代目 砂川 清

伝統ある米子支部長として五年目を迎えました。同時に米子市民生・児童委員協議会傷害者福祉部会の副会長を兼務しております。政治経済、福祉年金等のますますの悪化と高齢化、格差社会の拡大、偽装等で命や思いやりの心が軽視される中、我々を取り巻く環境も後退しているのが現状です。このような厳しい現状を踏まえ、会員

の一人一人が従来の認識を捨て危機感を持ち、保守の固執をかなぐり捨て知恵と工夫を凝らした取組が必要と考えます。幸いにも数名の少年部会員が在籍し、着実に力をつけているのも心強い限りです。またこの時期に少年部に二段・三段を新設して頂きました事もありがたいこと存じます。そういった中で保存会の全体行事、支部行事を確実に実施して行かねばなりません。

二十年度も三支部合同審査会、四月には支部発足六十周年記念となる支部発表会を淀江文化センター大ホールで開催します。師範審査、予選会、全国優勝大会、高齢者施設の慰問、移動講習会と続きます。これからも会員一同、恥を撥く事を恐れず、まず挑戦を支部の入口に心をついて魅惑する支部にしていききたいと思っております。

安来節保存会会員特典！

次の施設で安来節保存会会員証をご提示されますと次の特典が受けられます。

- ・足立美術館入館料
2,200円が2,000円
- ・安来節演芸館
観賞料半額

平成20年度

唄の初め会

— 支部競演結果表 —

安来市長賞	加茂支部	山陰放送賞	神門支部
安来市議会議長賞	関西支部	足立美術館賞	松江支部
安来市観光協会賞	米子中支部	家納喜賞	益田支部
安来商工会議所会頭賞	本部道場	安来節演芸館賞	宍道支部

安来節保存会 大利根支部

関東の地に、新しく発足致しました
新支部でございます。
何卒宜しくお願い申し上げます。

(連絡先) 大利根支部長 玉川隆正
東京都板橋区高島平 3 丁目10-23-205
TEL 03-3938-7224 FAX 03-3938-9755

安来節保存会 大江戸支部

唄・絃・鼓・どじょう揃い踊り・銭太鼓
ご一緒に楽しみませんか

江東・多摩・柏・大田・世田谷教室
代表、支部長 森 脇 忍
〒135-0043 江東区塩浜 1-1-13-1317
TEL 03-3615-0888